

所 属	県土整備部 道路維持課		
担当(係)名	市町村道担当	内線	3708

新 社会基盤メンテナンスサポーター（MS）の養成

< 長期構想推進重点政策枠事業 >

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
2,000	一財 2,000	使用料及び賃借料 1,065(バス借上料等)
(前年度 -)		報償費 440(外部講師報償費)

2 背景・現状

人口減少時代を迎え、超高齢社会の到来が予想される一方で、昭和40年代以降に経済成長と同時に集中的に整備されてきた道路施設の高齢化も進んできている。

県管理道路の延長が約4,200km、橋りょう数が4,329橋と全国トップクラスの岐阜県においては、これらのメンテナンスが課題となっている。

現在、県では岐阜大学など産学官の連携により、社会基盤を維持管理するために必要な高度な技術を有する「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)」を5年で100人を目標に養成しているところであり、MEを中心とした維持管理体制づくりを進めている。

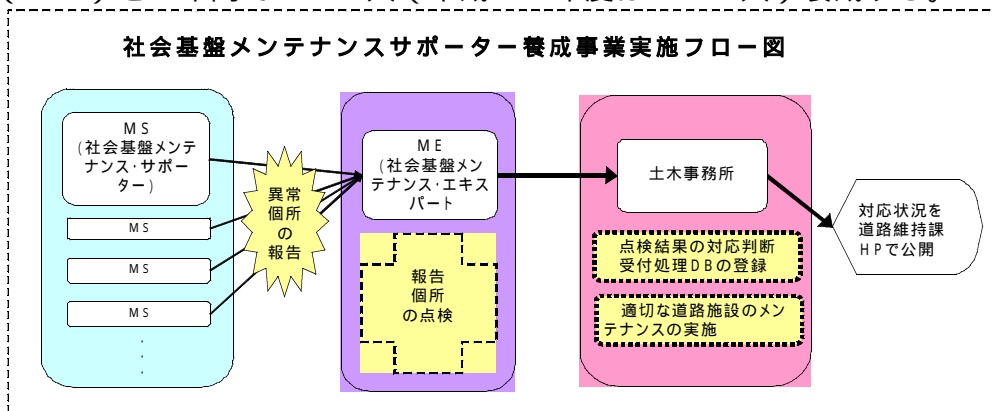
一方、県土木事務所で実施している道路パトロールは、週一回を原則として車上からの目視により行っているが、職員数も限られており、損傷状況の把握に限界がある。

3 事業目的

道路に関心のある県民を対象に「社会基盤メンテナンスサポーター(MS)」を養成し、高齢化する道路施設の損傷状況を早期に把握し、MEに報告してもらうことで、県民協働による道路施設の維持管理体制を構築する。

4 事業概要

大学関係者やMEによる講義や現地実習により、道路管理の基礎的な知識をもつ人材(MS)を5年間で500人(平成21年度は110人)養成する。



(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (2) 道路橋りょう維持費
(明細書事業名) 単独事業
社会基盤メンテナンスサポーター養成事業費